

< あなたの治療について >


泌尿器 – Nivolumab – 腎 – q2w

今回の治療は、Nivolumab という治療法で、オプジーボ（NIV）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は2週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を2週間（14日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~14日目
	オプジーボ (抗がん剤) 240mg/body	点滴 約30分		お休み

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

オプジーボについて

疲労

特徴的な副作用について

オプジーボにおける

間質性肺疾患

「発熱、から咳、呼吸困難」などの症状

甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害

「全身倦怠感、むくみ、発汗、体重減少、意識がうすれる、血圧低下」などの症状

Infusion reaction

「発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等」などの症状

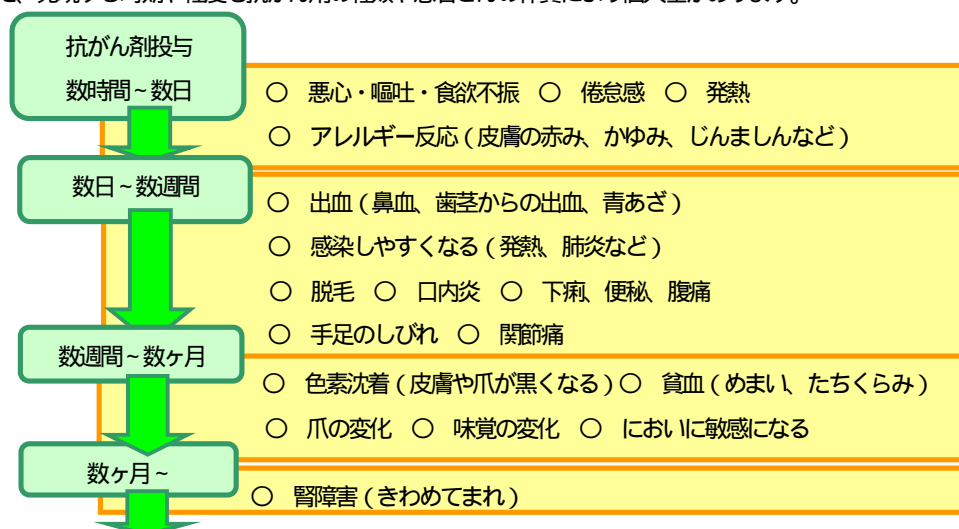
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【オブジーボ】

- <間質性肺疾患>発熱、から咳、呼吸困難
- <重症筋無力症、筋炎>筋力低下、眼瞼下垂、呼吸困難、嚥下障害
- <大腸炎、重度の下痢>持続する下痢、腹痛、血便
- <1型糖尿病>口渇、吐き気、嘔吐、全身倦怠感、多尿
- <肝機能障害、肝炎>全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる
- <甲状腺機能障害>全身倦怠感、むくみ、発汗、体重減少
- <神経障害>まひ、下半身が動かない、手足のしびれ、手足の痛み
- <腎障害>尿量減少、顔のむくみ、眼がはれぼったい、頭痛
- <副腎障害>全身倦怠感、意識がうすれる、嘔吐、食欲不振、低血圧
- <脳炎>発熱、頭痛、嘔吐
- <重度の皮膚障害>全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、発熱
- <静脈血栓塞栓症>むくみ、熱感、局所の痛み
- <インフュージョン・リアクション(薬剤注入に伴う反応)>呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ、発熱

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。